

# ひろば大代

NO. 220

大代公民館

大代町民運動会を終えて  
体協会長 大場清志

り、悔しさや喜び等皆様の心の中に楽しい思い出が残ったなら、幸せに思います。結果は次の通りです。

|      |      |      |
|------|------|------|
| 一位水色 | 二位白色 | 三位紫色 |
| 四位黄色 | 五位赤色 | でした。 |

大空にそびえる大江高山のふもと、新築の大代小学校校庭で第四十七回町民運動会が開催されました。

当日、前日までの雨で開催が危ぶまれました。しかし新校舎の校庭の水はけの良さには驚くものがありました。けれど朝七時を過ぎての大雨、なんと自然是冷酷なのでしょうか。開催時間を見失しての開会、朝の参加人数は二十九名とまずまずの出足でした。

百メートル競争が始まり、いつもより長い直線で半分の五十メートルを過ぎた時点で、選手の苦悩がありありとうかがえました。ご苦労さまでした。そして競技は進んで、郵便局長杯グランドゴルフ大会、農協杯争奪綱引き大会等、大勢の参加有難うございました。

広いグラウンドで走ったり、転んだ

最後になりますが競技の運営上、皆様にご満足頂けなかつた点につきましては深くお詫び致します。今後共体協活動に対しご協力の程お願い致します。

来年の町民運動会も大勢の皆様の参加の下に楽しめる大会にしようではあります。

幻の一等賞

八反田 長谷保季



りました。「ベースを上げよ!」と脳が足へ指令を出した瞬間、妙にむずがゆい感じが両足を走り、「あ、まずい……」と思う間もなく足がもつれ、地面が頭の方へ近づいて来たからです。がつたとはいえ、まさか転倒するとは……。若さを自負している私にとっては深くお詫び致します。今後共体協活動に対しご協力の程お願い致します。

ところが、転倒はしたものの方へ

一回転したところでうまく立ち上がることができ、そのままゴールへ……。もちろん一着は夢と消えましたが、順位はひとつ落としただけの四着でゴールすることができました。車社会に慣れ、日頃の運動不足を痛感した一日となりました。

それにも増して、新しい小学校のグランド、たくさんの参加者、そして最後まで白熱した競技で沸いた今年の運動会がいつまでも脳裏に焼き付いています。

余裕すらありました。

綱引きの勝利の秘訣

山田 坂本久美子

今年の町民運動会の女子の部の綱引き大会で私達白色は優勝しました。

「綱引きはなぜ強い」という題で原稿を依頼されたけれど、いったい何を書いたらよいのやら。

「綱引きに勝つ秘訣は何ですか?」と聞かれても、「企業秘密で言えません」と言いたいところですが、別に秘訣など何もありません。

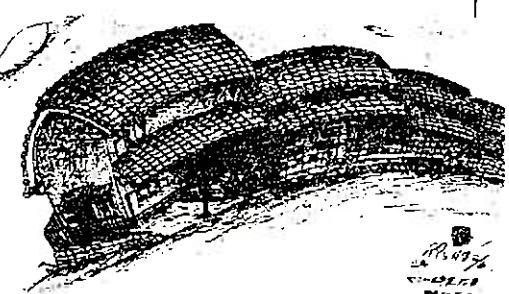
十人みんなで頑張つて一生懸命に綱を引っ張つているだけなのです。綱引きで勝つても喜んでいいのやら悲しんでいいのやら複雑な気持ちです。「白組の女性は、旦那を尻にひいていいから強いのではないか」と言われた事があります。そんな事はありません。我が家の旦那様を尻になどひいておりません。私の家の主人は事主闇白で、いばっていますよ。

私が代表でこんな事を書いて申し訳ありません。他の皆さんにもご意見を聞いてから、書かなければいけなかつたですが、紙面を借りてお詫びします。

「ハンドルをイーゼルに」

曲線を使つて独特の作風

\*イーゼル  
絵をかく時画面などをたてかける台  
\*デフォルメ  
絵など意図的に対象を誇張したり変形したりして表現すること



県花と緑のまちづくり推進大会が開催され、席上大市の田辺孝氏が個人の部で優秀賞を受賞されました。種からの花づくりはとてもご苦労があろうかと思います。過去十年間花による大代町の明るい町づくりの為、大変努力されました。受賞を心より御祝い申し上げます。

### 交安協よりお知らせ

大代交安協会長 市原仁郎

去る十月十七日川本町にて、第三十三回島根県交通安全県民大会が開催され、席上次の方々が表彰されました。

◎交通栄誉章緑十字銅章（敬称略）  
椿 高崎 章

### ◎優良運転者（三十年表彰）

井谷博子、今田登三、梅木俊美  
岡 平、笠井岩義、角ヒロ子  
門脇スエ子、熊谷徳夫、坂井勇  
篠木喜代子、曾根豊子、原田一徳  
原田定美、船木佐津江、松島淨忍  
樺原健作、森田輝男、渡井秋良

渡井延男

「島根県花と緑の町づくり賞」  
個人の部 優秀賞受賞！

去る十月十九日、長智町にて「島根

◎優良運転者（二十年以上）

曾根巖、高村玲子、谷口ミサ子

谷口光枝、中垣土夫、西本一廣

長谷保孝、山下正判、和田公一  
おめでとうございます。これからも  
安全運転を心がけて下さる事を期待致  
します。

### グランドゴルフ部頑張る!

去る十月十日に大田市民球場で行わ  
れた、大田市健康体力つくり市民大会  
に於て大代グランドゴルフ同好会が活  
躍しました。入賞者は左記の通りです。

|    |       |      |
|----|-------|------|
| 優勝 | 高崎 章  | 男子の部 |
| 三位 | 中島つる子 | 女子の部 |
| 四位 | 渡利愛子  | 〃    |

(敬称略)

### 「匂を求めて」

関西高山会会長 田辺正義

その十一どんぶりものがたり

庶民の舌が育んだ日本独自の食文化  
丼物の起源は江戸時代である。

東京の下町には「店屋物」と呼ばれ  
親しまれてきた独特のご馳走文化があ  
る。仕出し料理とは趣を異にする下町  
独特の気さくで気取られない食文化で

ある。その店屋物の代表が丼物なので  
ある。

しかし丼物が生まれるにはまず丼が  
なくては始まらない。その丼の起源辞  
典などによるいろいろな説がある。  
丼が日本へ上陸した段階でいち早く日  
本の丼に生まれ変わったルーツをみて  
みたい。

「原色陶器大辞典」を見ると「丼す  
なわち丼鉢。もと丼鉢には蓋がないも  
のと決まっていたが、今は蓋を用いる  
ことが多くなった。丼の話は江戸時代  
に起こつた語のようで、朝鮮語の湯器  
(タンバル)の転訛だろうと思われる」  
とある。ではタンバルとはなんぞや?

同じ辞典は「朝鮮の蕎麥屋・汁掛飲  
屋などで用いる鉢のことと湯鉢の字を  
当てる。湯は汁物の意」と解説してい  
る。タンバルとはつまり具の多い汁の  
たっぷり入った大ぶりの鉢のことなど  
である。どうやら丼の戸籍は朝鮮で、  
江戸時代の中期から後期にかけて海を  
渡って日本へ来た。そしていち早く日  
本に定着し、丼物という日本独特の食  
文化を生み、庶民の舌を魅了し浸透し  
ていったのだろう。

「どんぶり」は日本でも古くから馳  
染みの言葉がある。たとえば江戸時代  
遊び人が懷に入れて持ち歩いた大きな  
袋、これもどんぶりであり、また職人  
の腹掛けの前かくしも、どんぶりと呼  
べている。まだある。「どんぶり勘  
定」である。どんぶりはこれほど左様

に庶民の暮らしの中で広く使われ、親  
しまれてきた日常語なのである。  
丼は日本へ上陸した段階でいち早く  
日本の丼に生まれ変わった。そしてま  
たたく間にうなぎ屋とそば屋に浸透す  
る。そこで誕生したのがうな丼であり  
そば屋の種類であつた。

\*\*\*\*\* 十一月行事予定 \*\*\*\*\*  
◆9日(日) 幼小公同和教育研修会  
◆7日(金) 幼小公同和教育研修会  
◆16日(日) 福祉丼当  
◆9日(日) 大代町文化祭  
午前十時から午後三時まで  
◆22日(土) 連合自治会  
午前十時から午後三時まで

◎社協大代支部より

下市

山根健一様から

香典返しにかえ金一封の御厚志を頂  
きました。厚くお礼申し上げます。